

# 東京福祉社会だより

第64号 平成24年7月(通刊87号) 発行



# 郷音

ひびき

「響」とは「郷」の「音」と書きます。私ども東京福祉会では、この温かなものを大切に「心に響く葬儀」を目指しております。

『流れつづける怒の心』

《作家》 童門冬二氏

職員紹介

平成23年度 決算報告

読者の皆様の作品発表

お客様からのご意見・ご要望  
(アンケート)

体験寄稿文

『夫を偲ぶ』

H.Nさん

「ホール多摩」名称変更のお知らせ

平成二十四年五月二十五日から

「ホール多摩国立」に変更いたしました。

引き続きご愛顧のほど、

よろしくお願ひ申し上げます。

大正8年創立



社会福祉法人 **東京福祉会**

道灌山会館 江古田斎場 ホール多摩国立

# 流れつづける 恕心の心



江戸時代の為政者たちはすべて水戸黄門にぶっとばされるような悪いやつばかりではない。立派に、

「弱者の味方」として行動していた人びとがいる。それらの人びとは共通して「恕（じょ）の心」を持っていた。恕というのは孔子が論語の中で述べた言葉で、意味は、

「常に相手の立場に立つてものを考えるやさしさと思いやりのこと」である。徳川時代に最初に「市民の存在」を意識し、「市民、とくに弱い立場にある存在のことを考えずには、もはや政治はおこなえない」と考えたのが八代将軍徳川吉宗だった。吉宗は江戸城の大手門前に「目安箱（投書箱）」を設けて、市民から政治に対する意見を求めた。その中に、小川笙船という町医者からの投書で、

「江戸市中で孤独な生活を送っている老人のために福祉施設を設けて欲しい」というのがあった。家族がないので

もしも病気になればそのまま死んでしまふというのが笙船の憂いであった。吉宗はこれを採用し江戸町奉行（東京

都知事兼警視總監）に命じてすぐ施設を建てさせた。それが「小石川養生所」である。吉宗は投書者の小川笙船を初代の院長にした。いつてみれば町医者として日本で最初の国立病院の院長にしたということだ。小石川養生所は代々幕府直轄とし、江戸町奉行所の管理下におかれた。吉宗の孫で白河藩主だった松平定信が老中筆頭（総理大臣）になって「寛政の改革」を展開した。このころは幕府財政は疲れ果てていたが、なかでも「小石川養生所」は金食い虫になっていた。幕府内部ではしきりにこの廃止や規模縮小やあるいは民営への移管などを求めた。しかし定信は首を横に振った。かれは、

「そんなことをすれば、金持ちだけがゼイタクな医療サービスを受け、貧乏人は受けられない。金で福祉が左右され

るのは間違いだ」と主張した。ではどうするか、ということかで定信は、

「江戸市民の権利と義務」のことを考えた。かれは吉宗の孫である。祖父はこの「市民の権利と義務」の問題をこの江戸の消防組織で実現した。吉宗のころに消防組織は大名火消しと旗本火消しといういわば「武士の消防隊」以外なかった。吉宗はそれを、

「市民にも消防組織を設けさせよ」と大岡に命じて実現した。これがいろは四十八組の現在も残る江戸消防組織だ。定信はこのことを江戸の町会長と相談した。町会長たちは異口同音に、

「それは、わたくしどもで負担をいたします。わたくしどももいつ子どもにもはなされ、孤独になって養生所のご厄介になるかわかりませんので、前々から気にしておりました」ときもちのよい返事をくれた。これによって「七分積立金」という制度がはじまり、養生所の費用を主に江戸市中における、「弱者救済のための資金源」が設けられたのである。

吉宗はそれほどではないが、大岡忠相も松平定信も、とにかく江戸時代の幕府の良心的な武士たちはすべて「儒学」を学んでいた。当然「論語」にある、

# 童門冬二

作家



童門 冬二 (どうもん ふゆじ)

1927(昭和2)年、東京都生まれ。東京都庁に勤務し、広報室長、政策室長などを歴任。79年に退職後、本格的な作家活動に入る。第43回芥川賞候補。

主に組織と人間をテーマに据えた作品には定評がある。著書に代表作「小説 上杉鷹山(上・下)」をはじめ、「吉田松陰(上・下)」、「小説 直江兼統」、「渋沢栄一 人生意気に感ず」、「小説 佐藤一斎」ほか多数。テレビ出演、企業・自治体などの講演も多い。

愛の念を抱きつづけている。

「怒の心(忍びざるの心)」を尊重していたのだ。そしてこの地下水脈的な福祉の心は、いまでも関係者の間に脈々と流れつづけている。わたしはそういう存在に限りない信頼と敬

任はまっとうされない。その心が持てるような環境や条件整備こそ必須要件である」と考えたのである。

渋沢栄一といえば日本に資本主義を導入し、明治経済を近代化したことで有名だ。しかしかれは実をいえば徳川幕府が倒れ明治政府が成立したのちに、江戸町奉行所改め東京市の管轄になった「小石川養生所」改め「東京市立養育院」の初代の院長である。望んでかれはそのポストを得た。しかも、「死ぬまでこの仕事をさせて欲しい」と東京市長に頼んだ。考えようによっては、資本主義実現のために時折汚れる思いのした渋沢が、その自己の精神の浄化のためにもこの養育院長のポストを求めたのかもしれない。渋沢栄一は松平定信とその祖父の徳川吉宗を尊敬していた。定信については、「白河楽翁公伝」という大部の伝記を岩波書店から出版している。それほど定信や吉宗の心に流れる、

「怒の精神」

を身につけていた。怒の精神は孔子のいい出したことだが、それより後代に生きた孟子という古代中国の思想家が庶民にわかりやすいように開いた。それが、

「忍びざるの心」である。意味は、「他人の悲しみや苦しみはみるに忍びない」という「福祉の心」だ。水戸黄門にぶっとばされず、逆に感心させるような幕府や藩の良心的な役人はすべて「忍びざるの心」を持っていた。孟子はさらに、「この『忍びざるの心』を、人間のだれもが持たなければいけない

心」として「恒心」と名づけた。そして孟子はさらに、

「恒心なければ恒心なし」といい放った。恒心というのは、ふつうなら収入や財産のことをいうが江戸の政治家たちはそうは考えなかった。

「恒心」というのは生活環境や条件の整備のことである」と捉えた。論語にある、「水は方円の器に従う」という言葉をそのまま信奉し、

「水は人の心、方円の器は環境のこと」と考えたのである。したがって、「ただ恒心(忍びざるの心)を持ってという精神主義だけでは、決して政治の責

# 職員紹介

平成24年度新規採用した職員を紹介いたします。  
本年度は男性4名、女性2名の計6名(葬祭部門)を採用しました。  
現在、既にそれぞれの職場へ配属され、日々奮闘しております。  
まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



しゅんすけ  
**前田 隼輔**  
(業務本部 業務課)

平成24年度、新規職員として4月より「道灌山会館」に配属になりました前田隼輔と申します。今はわからないことが多く、多くの方々にご迷惑をおかけしてばかりで、勉強の毎日ですが、日々精進し皆さまのお役に立てるようになりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## 道灌山会館



さやこ  
**牧岡 沙也子**  
(業務本部 業務課)

4月より「道灌山会館」に配属になりました牧岡沙也子と申します。まだ知らないこと、分からないことも多く、勉強の毎日ですが、一つひとつの業務を大切に日々努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## ホール多摩国立



しんたろう  
**田中 伸太郎**  
(ホール多摩国立 業務課)

4月より「ホール多摩国立」に配属となりました田中伸太郎と申します。今抱えている緊張感と新鮮な気持ちを大事にし、更に毎日研鑽を重ね、そしてお客様に安心していただき、お役に立てるよう、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の4月から東京福祉会「江古田斎場業務課」に配属になりました岩村琴美と申します。東京福祉会の一員としてお客様の心に寄り添い、心温かなサービスをご提供できるよう、精一杯努力していきます。よろしくお願いいたします。



ことみ  
**岩村 琴美**  
(江古田斎場 業務課)



のぶ かつ  
**坪井 信勝**  
(江古田斎場 業務課)

この度「江古田斎場」に配属させて頂きました新入職員の坪井信勝と申します。この春に大学を卒業したばかりで、毎日が緊張の連続です。まだ右も左も分からずに、先輩方にはご迷惑をお掛けしておりますが、誠意を持って業務に挑戦したいと思います。よろしくお願いいたします。

## 江古田斎場



「江古田斎場福祉課」配属になりました西川彰人と申します。配属となった職場は、低所得者や身寄りのない方々への葬儀や埋葬の手助けを行う部署で、当会のいわば「根幹」となる事業を守り続けている課です。その様な場で、日々研鑽に努めることのできる環境を光栄に思います。地域福祉の更なる促進に向け、微力ながらも東京福祉会のために尽くして行きます。何卒ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



あきと  
**西川 彰人**  
(江古田斎場 福祉課)

# 平成23年度 決算報告

社会福祉法人 東京福祉会の平成23年度決算(概要)は、下表の通りです。  
平成23年度は、「ホール多摩国立」の駐車場新設(31台)、聖恩山霊園  
納骨堂納骨壇の増設及び葬祭扶助基準額の加算制度を廃止いたしました。

## 1. 貸借対照表

平成24年3月31日現在

勘定科目	金額(千円)
資産の部	
流動資産	1,734,572
固定資産基本財産	6,523,669
他の固定資産	3,233,959
<b>資産合計</b>	<b>11,492,200</b>
負債の部	
流動負債	424,445
固定負債	1,328,307
負債合計	1,752,752
純資産の部	
基本金	77,214
国庫補助金等特別積立金	2,748,440
その他の積立金	378,413
次期繰越活動収支差額	6,535,381
(うち当期活動収支差額)	289,592
<b>純資産合計</b>	<b>9,739,448</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,492,200</b>

## 2. 資金収支計算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

勘定科目	金額(千円)
経常活動による収支	
経常活動収入 計 ①	3,988,008
経常活動支出 計 ②	3,426,205
経常活動資金収支差額 ③=①-②	561,803
施設整備等による収支	
施設整備等収入 計 ④	3,752
施設整備等支出 計 ⑤	88,316
施設整備等資金収支差額 ⑥=④-⑤	△ 84,564
財務活動による収支	
財務活動収入 計 ⑦	461,646
財務活動支出 計 ⑧	731,387
財務活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧	△ 269,741
当期資金収支差額 合計 ⑩=③+⑥+⑨	207,498
前期末支払資金残高 ⑪	1,169,810
当期末支払資金残高 ⑫=⑩+⑪	1,377,308

## 3. 事業活動収支計算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

勘定科目	金額(千円)
事業活動収支の部	
事業活動収入 計 ①	4,036,564
事業活動支出 計 ②	3,752,710
事業活動収支差額 ③=①-②	283,854
事業活動外収支の部	
事業活動外収入 計 ④	23,221
事業活動外支出 計 ⑤	17,343
事業活動外収支差額 ⑥=④-⑤	5,878
経常収支差額 ⑦=③+⑥	289,732
特別収支の部	
特別収入 計 ⑧	419,697
特別支出 計 ⑨	419,837
特別収支差額 ⑩=⑧-⑨	△ 140
当期活動収支差額 合計 ⑪=⑦+⑩	289,592
前期繰越活動収支差額 ⑫	6,273,137
当期末繰越活動収支差額 ⑬=⑪+⑫	6,562,729
基本金取崩額 ⑭	0
基本金組入額 ⑮	0
その他の積立金取崩額 ⑯	0
その他の積立金積立額 ⑰	27,348
次期繰越活動収支差額 ⑱=⑬+⑭-⑮+⑯-⑰	6,535,381

## 会友 Bプランはとってもお得!



基本葬祭料金

**30%割引**

- ◎直営斎場利用料金50%OFF
- ◎生花1基サービス
- ◎花とみどりのギフト券 10,000円分進呈 など、

**9**つの特典

既に会友Aプランにご加入中の方は、  
**加入金9,000円**で  
会友Bプランに変更することができます。

詳しくはこちらまで!

**03-3823-8026**

※Bプランは生前加入の必要があります。

## 読者の皆様の作品発表

チュウリップ 齢にも和み心かな

雨のあと物芽揃ひて春深き

S.K (練馬区在住)

今日の幸明日へと繋ぐ若葉風

初彼岸机上の辞書ら主を待つ

S.Y (練馬区在住)

独りでは淋しかろうと返り花

Y.K (練馬区在住)

俳句



俳画

S.S (練馬区在住)

# お客様からのご意見・ご要望（アンケート）

東京福祉会では、ご利用いただいたお客様から、率直なご意見・ご感想をいただくため、アンケートへのご協力をお願いしております。平成23年度の集計結果は次の通りです。今後ともいただきました貴重なご意見等を十分に踏まえ、より質の高いサービスの提供に、努めてまいります。

## アンケートの概要

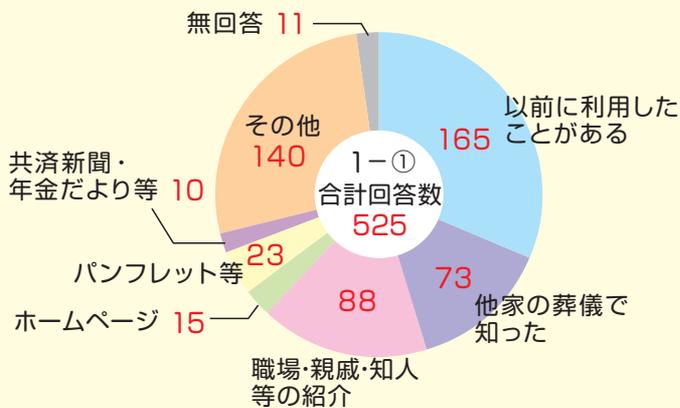
- ◆実施期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日
- ◆発送数:1,302通 返信数:422通



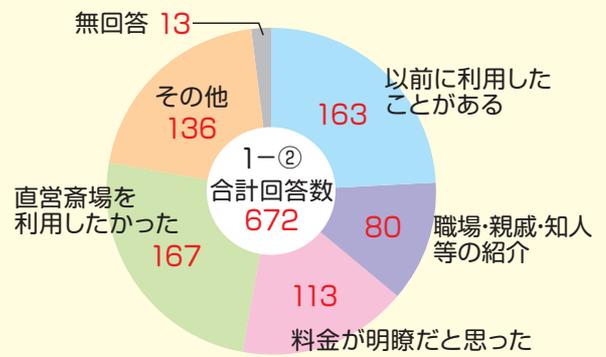
## 1

### 葬儀依頼の経緯についてお伺いします

①東京福祉会をどのようにして知りましたか  
(複数回答可)



②今回、東京福祉会に葬儀を依頼した理由について教えてください(複数回答可)



## 2

### 電話の対応についてお伺いします

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①態度、言葉づかい	352	105	25	1	0	6
②質問等に対する説明	350	103	27	0	0	8
③話をよく聞いてくれた	364	93	22	1	0	8



## 3

### 担当職員についてお伺いします

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①身だしなみ(服装・清潔感)	387	80	17	2	0	2
②誠実さ、態度、言葉づかい	398	72	15	2	0	1
③安心して任せることができた	389	78	14	3	2	2

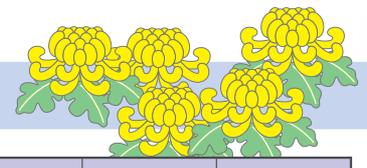




## 4 葬儀の打合せについてお伺いします

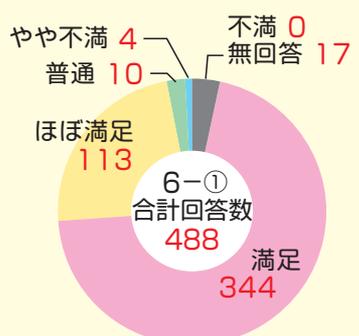
	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①誠実さ、態度、言葉づかい	372	85	16	1	0	14
②料金や内容等についての説明	337	103	28	6	0	14
③疑問や質問に対する説明	342	109	17	5	0	15
④葬儀に関する全体的な説明	348	102	16	4	1	17
⑤ご喪家の意向をよく聞いてくれた	338	80	15	1	0	54

## 5 通夜・葬儀等についてお伺いします

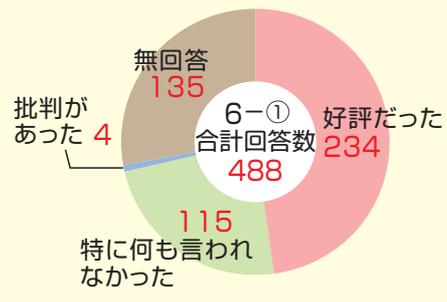


	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
①式場の設備や使いかた	326	126	19	1	0	16
②祭壇・オプション品等	342	114	19	0	0	13
③式の全体的な進行	339	119	14	2	1	13
④職員の態度、言葉づかい	370	91	13	2	0	12
⑤司会	345	97	16	4	1	25
⑥当会の火葬場案内職員の身だしなみ、態度、言葉づかい	334	104	30	0	0	20
⑦当会の火葬場案内職員の対応	324	107	33	2	0	22
⑧通夜・精進落としの料理の味	232	136	75	8	1	36
⑨通夜・精進落としの料理の内容	222	147	74	6	2	37
⑩通夜・精進落としの料理の価格	199	139	94	17	2	37

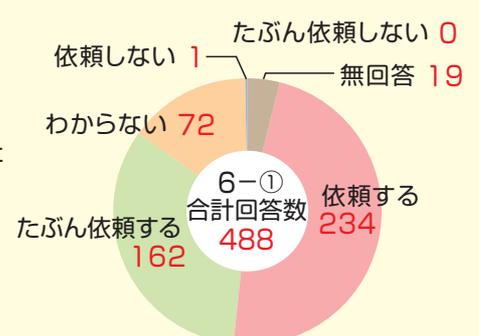
## 6 今回の葬儀全体についてお伺いします



① 今回、葬儀を東京福祉会に依頼したことについて



② 会葬者のご感想



③ 将来、もし葬儀をすることになったら、また東京福祉会に依頼しますか

## 体験寄稿文

# 夫を偲ぶ「生老病死」

H. N (西東京市在住)



平成23年7月、猛暑日が続く夕暮れ時のこと、結婚生活50年の歳月を共に支えた夫は、87歳の天命を全うして旅立ちました。数年前より、東京福祉会江古田斎場の催事である「わの会」に参加して三橋尚伸先生の法話を拝聴し仏の道を学んでいました。「人間の生命は、神様仏様に戴いたのではない。お預かりしている大切なものであり、有難うございました。と丁寧に丁寧にお礼を述べてお返しすべき大切な生命である。」と教えられました。その仏の教えに導かれ日々を過ごしていましたが、その大切な生命をお返しすべき現実の日を迎えました。葬儀は江古田斎場にて、誠心誠意品格ある対応をして戴きました。気丈な振る舞いをポロポロに失っていた喪主にも優しい心配りを戴き、大変感謝を重ねています。

葬祭セミナーにも参加して、ささやか乍らの計画・選択も大変役立ちました。立派に旅の支度も整えて沢山の花に埋もれ、別れを告げて無事天国へと旅立ちました。87歳の男のプライド、「江戸っ子だ」とは生前の夫の自賛、病気知らずで健康でした。老いの不条理、ボケの不具合も当然と受け止めて別れを告げたことは夫らしいと振り返っています。

その夫の生涯は、実に多難な世代を乗り越えた尽きない忍耐が偲ばれます。関東大震災の混乱期に母親が転倒してびっくり仰天、早産の誕生でした。子どもの頃より両親に厳しく育てられ、成年時代は皇居マラソンランナーとして健脚を競い、やがて獣医を志す学生半ばに惜しくも太平洋戦争開戦により入隊されまし

た。厳しい戦争となり、東京大空襲の「B29」無差別空爆で、生家は全焼し母親は被災して他界しました。その頃戦場では、多くの兵士が水だけを飲んで両手を合わせ「お母さんお母さん」と叫び続けて亡くなられた惨状が脳裏から失せることはないと言っていました。

夫には戦後同時に生還した戦友がいて、生き残りの運命を共有していました。しかし、その戦友が今回の東日本大震災の津波で行方不明との訃報を知り、あの手この手の確認の焦りが長引く中で、ぐんぐんと体調が悪化していきました。夫は、そうした状態にあっても死に対する恐怖も見せず、生きる執念もあっさりとして捨て追いかけるように逝ってしまいました。後期高齢者となり、急な入院時の備えもたった1回の出番もなく日頃から「延命治療はしないで欲しい。胃ろうなどはとんでもない、元気でなければ長生きする意味がない。」と言い遺して逝きました。

最後に「他人にしてもらえない世話をしてくれて有難う。」と、また、「お母さんは大丈夫かい。」と精一杯のかすかな言葉をつなげた直後に昏睡状態に急変して息絶えたのです。私の喪失感は、この言葉に救われて生きています。往診医療も快く希望を叶えて戴いた医師の誠実さにも大変感謝しています。子ども達の同意も得、夫の希望を最優先に自宅介護の見取りに悔いはありません。喪失の日々にも、もう私は自分を責めません。この先は、天国の夫に合掌し見守られ、この世に忘れ物をしないように、穏やかにゴールを迎えたいと願っています。

■ 葬儀に関する詳しい資料(施設案内、料金表(仏式、神式、キリスト式、花祭壇など))をご用意しております。お気軽にご請求ください。



- ① 仏式のご案内 ② 花祭壇のご案内
- ③ 道灌山会館のご案内 ④ 江古田斎場のご案内
- ⑤ ホール多摩国立のご案内 ⑥ 会友制度のご案内
- ⑦ 葬祭のしおり

■ 資料のご請求はこちらまで

〈電話〉 **03-3823-8026** 〈E-mail〉 [info@fukushikai.com](mailto:info@fukushikai.com)

東京福祉会 渉外部

東京福祉会  検索   
<http://www.fukushikai.com>

発行所 社会福祉法人 東京福祉会 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-52-1 電話03(3823)8026